

医療法人社団 松籟会 宇都宮西ヶ丘病院 〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 842 TEL028-621-3171

こころの絵画書道展

平成 29 年 2 月 15、16 日、文化センターにてこころの絵画書道展が開催されました。デイケアからは、書道 2 点と絵画 4 点を出品しました。その中で書道の作品が銀賞を頂きました。また、恒例となったカフェサービスのお手伝いもしました。たくさんのお客さんに足を運んでいただき、特にホットココアが大人気でした♪ 来年もたくさんの作品が出展し、入選する事を願います(^◇^)

●心の絵画書道展

料理好き



2 月 15 日、心の絵画書道展がありました。カフェサービスはいつもの年ならスタッフを入れて 5 人なのですが今年は 4 人と少し寂しい感じでした。書道部門では、デイケア長岡の森の O さんが銀賞を頂きました。絵画部門では、院内の T さんが入選されました。自分も絵を出したのですが、入りませんでした。又、来年も出してみつもりです。カフェサービスでは、コーヒーよりココアが一番注文が多く会場のスタッフが急ぎょ買い出しに行くという場面もありました。昼食は、なんと自分が通っているジョアンのお弁当だったのでびっくり！中身も豪華でデザートにはフルーツサンドがついていました。スタッフや実習生さんや O さんから色々聞かれ 1 つ 1 つ丁寧に教えたりしていました。この後病院の車でデイケアに行き、午後のプログラムに参加して帰宅しました。とても、楽しい一日でした。



●第15回 栃精協こころの絵画書道展

人面魚



恒例のこころの絵画書道展が、2月15日(水)・16日(木)と本町の県文化センター2Fギャラリーにて開催されました。昨年は、DC通所者は入選者も出ませんでした。今年はK・Oさんが銀賞、病棟患者ではT・Tさんが入選しました。K・Oさんにインタビューしました。

人面魚：銀賞おめでとうございます。昨年は、受賞を逃して残念でしたが、今年作品に賭ける気持ち、そしてどの辺を観てほしいか聞かせて下さい。

K・Oさん：まず、何を書くかで色々迷った末「憂」一字にしました。今の世の中、憂う事(自然災害にしろ、人的災害にしろ)ばかりじゃないですか。でも、憂に人べんを付けると優しいとなる訳で、早く憂から優しさの溢れる世の中になればいいなという気持ちを込めて書きました。又、講評で審査の先生から手作りの額縁(銀紙の外と内の運筆の練習で書いた半紙を細引きにして貼った)とのバランスが大変良かったと褒められたことがうれしかったです。

人面魚：来年は、金賞への期待もされると思いますので、頑張ってください。

K・Oさん：とにかく今年は、例年より練習し下書きも数多く書きましたので、ほっとしています。金賞にこだわらず自分らしい書が書ければと思っています。有難うございました。



コラム

●長岡百穴仙人の独り言

人面魚



新年雑感

申年から酉年へと移り、正月も早半ばとなり寒さも一段と厳しくなってきた。だが、三が日は暖かかったのう。そろそろ、正月気分も抜け、世の中は通常に戻りつつあるようじゃ。ところで、酉年は飛躍飛翔の年と言うようじゃが、ワシの経験では、雲に乗って空を飛んでおった時、たらいで水浴びをしておった若の娘に気を取られ、地上におこった事がある。気をつけたいものじゃ。

相場の世界では酉年は、大変革の年だというが、ワシら年寄りには急な変わりようにはついていけない。ゆるやかな前進でいいのじゃないか。ただ、気づかぬうちに、真綿で締められるように日々の生活が苦しくなっていくのは、勘弁して欲しい。とにかく、良い年にしたいものですのう。



●コラム

1/2 世紀ばあば



誰にでも転機になる『出会い』のようなものがあるのかもしれない。「人」だったり「映画」だったり「歌」だったり、人それぞれだと思うのだけれども。何かしら、数年経ってももしかしたら、あれがそうだったのかなあって思う時がありますよね。

私は今、自分に余裕が無くて苦しいそんな時に、デイケアのプログラム(音楽工房)で「アメイジング・グレイス」の楽譜が渡されました。

私にとってのアメイジング・グレイスは亡き本田美奈子さんの歌うもので、ダンスの中にしまい込んでいましたが、それを引っ張り出して聴きました。

なんだか、ハッと目を覚まされた感じがしました。どこまでも祈りに近い歌声を聴いて、自分の忘れていた大切な事を。思い出さなければいけない何かを。今の私に心地よく響いて教えてくれている気がしました。

アメイジング・グレイスとの再会を苦しい時だからこそ、いい転機にしていきたいと思います。

●『特別展 春日大社千年の至宝』を観て

ドリーム

2月22日に上野の東京国立博物館(平成館)に、『特別展、春日大社千年の至宝』を観に行ってきました。平日なのにけっこう人出があり、混んでいました。

この度の特別展の意趣は購入したカタログに「ごあいさつ」を記された文章を一部引用させていただくとわかりやすいと思われますので、ここに記しますと

本展覧会は、春日大社の長い歩みのなかで伝来した選りすぐりの名品をかつてない規模でご紹介するものです。王朝美の精華を伝える古神宝(こしんぼう)類、甲冑(かっちゅう)や刀剣、美しい自然に囲まれた聖地、春日野や神々の姿を表した絵画や彫刻、また祭礼の奉納芸能を華やかに彩った装束も加え、悠々の時を越えて伝えられてきた華麗な宝物をご堪能いただけます。

この特別展は平成29年1月17日から開催されていて、平成29年3月12日までの展示ということなのですが、中には2月19日までの展示品もあり大そう見応えのある宝物もあったようです。2月14日からの展示品もありましたが、最初からの展示品を全部観覧できないのが残念でした。2月19日までの展示品では大そう美しい金地螺鈿毛抜形太刀(きんじらでんけぬきがたち)がありましたが見られないのはくやしく残念に思われました。



展示品で特に心に残りましたのは、文殊菩薩立像で、お顔、お姿が何とも優雅で美しく心が魅かれました。仏像類はたいていのお顔がふくよかでかつ凛々しい作りですが、この文殊菩薩立像にはプラスアルファの品位がありました。

またあまりにも以外で驚いたのは、太刀(たち)でした。銘は確かではないのですが、巾、長さともに桁はずれに大きく一人で持つのも難しく、まして腰に下げられるようなものではなく、カタログの中から推察して金銅柏文兵庫鎖太刀(こんごうかしわもんひょうごぐさりたち)刀装総長177.4cm、刀身刀長98.8cmが相当するのだろうかと推察しましたが確かではないのです。とにかくあまりに大きいので驚きました。

大きい類でいえば、太鼓の大きく派手派手しいのにも溜息が出そうになりました。

春日大社といえば万燈籠、一つ一つ違った文様の鈎燈籠が、数多飾ってありました。このコーナーだけは写真撮影が許可されていて、外国人もいてカメラに収めていました、フラッシュは禁止されていましたが。

この度の展示会では、第一会場と第二会場があり、宝物の期間を通じての総展示数は250点ということなのですが、質・量ともかなりありました。見ごたえ十分の展示なのですが、体調のあまりよくない私はくたくたになりました。くたびれました、数時間の観賞に疲労困憊いたしました。

皆様もお疲れにならない程度に折りあえば御観覧なさってはいかがでしょうか。

●或る若者に絆された波紋

皆さんは「中二病」という言葉を存知でしょうか。お笑いタレント伊○院光がラジオ番組を通して生み出した造語である。意味については中学二年生頃に発症されると、いわゆる「今の自分を変え、なりたい大人への過大な欲求」として片付けられる事が多い。(あくまで自分の考えなので具体的な解釈は各々による)。今でいう大体 20~30 代はこの言葉の意味について知っておらっしゃる方が多いので、主題として雑談に華を咲かせるのはいいと思う。

さて、この言葉には問題がある。世間に対する反応だ。単刀直入に言えばこの手の発言すると周囲に厳しい目を向けられる。前文で話すといいと言っておきながら何たる言い草ではあるが、その隠された理由とは「相手を選べ」というしか他に無い。

私がこの「中二病」を罹患し気づいたのは 23 歳を過ぎてからだ。個人で提唱するのもどうだろうが、現在この手口はありにあふれている。ここで重要なのは「病」とされているが、医学的な根拠、精神疾患としては別なので安心して読んでほしい。さて、話を戻そう。

ありにあふれている……。私はよくインターネットを使い、その媒体を通して細かな文化に触れることは当然ある。しかしそれはどうの昔話。今は自称(通称でもいい)罹患者とされている輩がネットでは非常に多く、ちょっとポピュラーなサイトを閲覧すれば某神話だの、発作によりリアルで変わった行為をする人を見かけてはスマホで動画にして撮影し、それをアップロードし視聴者の反応を愉しむ。それは慎むべき行為として反旗する立場だ。

「中二病」はカルチャーとしては魅力的で多数決すれば賛成の意見が多いだろう。なのに私は興味を示さず、コンテンツとして蔓延っては虚しさが加速する。確かに最初は面白いとは思った。だが知った瞬間に過ちが始まる。病棟である看護師に話題を提案したこと。反応は薄い。理由は今になっては理解できる。

心が空っぽになってしまう訳だ、言葉遊びによって。自分が今まで信じていた道がどうにも行き詰まりに直面。喪失感、その虚しさ。かつて子どもだったあの頃は直感だけで生きてきたが、大人になって社会の仕組みを知るにつれ知恵だけで生きようになるんだよ。多分さ。

以上、乱文失礼。(著：竹郷すぐる)



タイトル「霞む光」

どこまで続くかわからないポツンポツンと光る道はまるで人生を躰しているかの様。しゅうご

■編集後記■

●料理好き

まだまだ、寒暖の差が激しい時期ですが皆さんはどんな風に過ごされていますか？自分は、デイケアと作業所の両方に通所し、充実した日々を送っています。デイケア新聞も今年の4月で早3年目になります。少しずつですが、記事内容も楽しめる様頑張ってお参りますのでよろしく。

●ドリーム

2月4日の立春を過ぎて光がめっきり春らしくなってきました。寒い日もまだあるのでしょうか春の長閑さもすぐそこまで来ているように感じられます。春よ来い。

●人面魚

2月は、一番寒い時期ですが小の月だしあつという間に過ぎていきます。年度末も近づき慌ただしく春を迎えます。3月は少しのんびりしたいものです。

●スタッフ荒川

春が近づき、花粉も飛び始めています。今年は、鼻が赤くなるくらいティッシュを使わなくていいように予防に努めます！（笑）



鬼可哀そう

豆ぶつけられ

鬼は外

福は内でも

節分に

デイケアメンバーの皆様へ 「原稿大募集！！！」

「響」では、プログラムや季節ごとのイベント・行事の紹介、利用者の日々の体験談等を掲載中です！

撮影した写真やイラスト等も募集していますので、原稿をお持ちの方は、お近くの編集委員またはスタッフまでお声掛けください♪

*原稿については、原文のまま掲載させて頂きました。誤字・脱字等がありました際には、ご容赦下さい。

——月刊デイ・ケア機関誌・発行元 医療法人社団 松籟会 宇都宮西ヶ丘病院 「デイ・ケア 長岡の森」——

発行日 2017年（平成29年）3月1日、vol.22

*デイケア「長岡の森」って

どんなところ？

「生活リズムを整えたい」、「仲間作りをしたい」、「日中の居場所が欲しい」、「就労に向けて準備をしたい」こんな希望や悩みはありませんか？デイケア「長岡の森」は、プログラム活動やメンバーとの交流を通じてステップアップしていく場です。少しでも興味・関心のある方は、ぜひ見学にいらして下さい♪

◎プログラム活動とは…プログラムとは、主に個人やグループで取り組む活動のことで、その種類は創作や料理・スポーツ・麻雀など様々です。主治医やデイケアスタッフと話し合いながら利用者の興味や目的に応じて選択できます。必ず参加しなくてはならないものではなく、その日の体調に合わせ、ゆっくりと一人で過ごすこともできます。

◎スケジュール

活動日：月曜日～金曜日

（土日・祝日は休み）

●活動時間：

デイ・ケア（1日）

午前 9：30～午後 3：30

ショート・ケア（半日）

午前 9：30～午後12：30

午後12：30～午後 3：30

ひびき
響 響宴 交響
反響 残響



医療法人社団 松籟会

宇都宮西ヶ丘病院